

1. 普及事業

A. なつやすみダンボール工作コーナー

実施日：8月11日・8月18日(土)

参加者数：こども83名+保護者73名=合計156名

対象：幼児～小学校6年生(小学校3年生までは保護者同伴)

概要：梱包資材であるダンボールで自分だけの機関車・トラック・貨物船を制作。

参加費：材料費100円(入館料別途)

B. 学生向け体験講座「美術品の梱包・入門(陶器)編」

実施日：8月9日(木)(午前・午後全2回)

参加者数：24名

概要：梱包の専門家を講師に招き美術品梱包の初歩を体験するもの。日本通運(株)美術品事業部協力。博物館学芸員資格を取得中の大学生や、博物館関係者などが参加。陶器の梱包体験のほか美術品専用車を見学。

参加費：700円(入館料含む)

C. 古文書講座「古文書を楽しむ～古文書講座初級編～」

実施日：5月19日、6月2・23日、7月7日の土曜日(全4回)

参加者数：のべ108名

概要：典型的なくずし字の読み方や、江戸時代の古文書のパターンに触れて、楽しみながら古文書に親しむ講座。

講師：学習院大学非常勤講師 田中潤先生

参加費：500円(1回毎、入館料含む)

D. 古文書講座「江戸時代の飛脚の実情に迫る！一定飛脚問屋・京屋桐生店史料をよむ」

実施日：10月27日、11月10・24日、12月8日の土曜日(全4回)

参加者数：のべ124名

概要：物流に関する歴史について、古文書の解説を行いながら解説する講座。今回は群馬県桐生市にあった江戸定飛脚・京屋桐生店史料をテキストとしてとりあげ、飛脚問屋でのさまざまな業務や輸送方法、また輸送事故が記された史料などを読みながら、江戸時代の飛脚の実態について解説。

講師：歴史研究家 巻島隆先生

参加費：500円(1回毎、入館料含む)

E. マンスリー上映会

概要：当館では、昭和20年代～50年代の物流に関する映画フィルムを収蔵しており、ほとんどの作品がデジタル化されている。平成29(2017)年度からこれらの中から映像作品を選び、上映会を毎月1回開催。

参加者数：のべ248名

実施日・上映作品：

①5月27日(日)

「300トントレーラー」「晴海埠頭倉庫」

②6月24日(日)

「欧米の貨物輸送作業」「荷役はかわる 第2集」

③7月29日(日)

「エレクション架設工法」「花ひらく日本万国博 EXPO'70」

④8月26日(日)

「荷役はかわる 第三集」「国宝の旅立ち」

⑤10月28日(日)

「黄色い車」「トレーラーとのせかえ車」

⑥11月25日(日)

「68の車輪」「ひとすじの道-160トン変圧器を運ぶ」

⑦12月23日(日)

「荷役近代化への道-現場人はいかに闘ったか」

「超重量に挑む-500トントレーラとシキ611」

⑧1月27日(日)

「こうして米は運ばれる」「海と陸をむすぶ」

⑨2月24日(日)

「アフリカ10,000キロ」「灼熱の大地で一日通 IJPC の記録」

⑩3月24日(日)

「日通伊豆富士見ランド」「白いレール」「花ひらく日本万国博 EXPO'70」

F. クリスマス・サンタクロース映画会

概要：プレゼントを「運ぶ」サンタクロースをテーマにした映画を2本上映し、サンタがこどもたちにプレゼントを贈呈。

実施日：12月15日(土)(午前・午後全2回)

対象：幼児～小学校とその保護者

G. 博物館学芸員実務実習の受入

実施日：8月4日(土)～5日(日)/7日(火)～11日(土)/14日(火)～16日(木)の10日間

受入人数：6名(神奈川大学：1名・淑徳大学：1名・鶴見大学：1名・日本女子大学：1名・日本大学：1名・立教大学：1名)

概要：大学で博物館学芸員資格取得を目指す学生の実務実習の受入。展示実習では映像展示室の「体験一運びくらべ」の展示を改良。

H. 高輪伝馬の会

概要：高輪伝馬の会は、平成15年(2003)11月に発足した自主的な勉強会。令和元年度も引き続き毎月第1・3土曜日に当館を会場として開催。

参加者数：のべ105名

開催回数：22回

2. 企画展

企画展「トレーラーと牽引車(トラクター)」

会期：10月10日(水)～12月24日(月)(76日間)

会期中入館者数：3,434名

概要：民生用のトレーラー利用は昭和戦前期から始まり、今日に至るまでさまざまなトレーラーが用いられてきた。本展では、戦前のトレーラー利用の曙の時代から、戦後の発展の時代に至る歴史を概観し、それぞれの時代においてトレーラーが果たした役割を、写真・映像・各種資料により紹介。

関連事業

①特別映画上映会 プログラムA

テーマ：「トレーラー特集～超重量品の輸送～」

上映作品：「300トントレーラー」「68の車輪」「1968、こっぴん23万KVAの旅」「超重量に挑む-500トントレーラとシキ611」

「ひとすじの道-160トン変圧器を運ぶ」

実施日：10月14日(日)・11月17日(土)

参加者数：10月-17名・11月-19名

②特別映画上映会 プログラムB

テーマ：「トレーラー特集～戦後復興と合理化～」

上映作品：「物のながれ」「荷役近代化への道-現場人はいかに闘ったか-」「欧米の貨物輸送作業」「黄色い車」「トレーラーとのせかえ車」

実施日：11月17日(土)・12月9日(日)

参加者数：11月-21名・12月-23名

③担当学芸員によるギャラリートーク

実施日：10月14日(日)・11月11日(日)・12月9日(日)

参加者数：のべ21名

3. 共催事業

講座「内航船ペーパークラフトを作ろう！」

共催団体：日本内航海運組合総連合会

実施日：8月24日(土)(午前・午後全2回)

対象：小学校6年生までとその保護者

参加者数：こども37名+保護者23名=合計60名

概要：くらしと産業に欠かせない貨物を多く運んでいる内航船についての解説を聞き、貨物船のペーパークラフトを製作。

講師：オトウカトウ氏(工作ユニット)

4. その他

開館20周年記念事業

概要：8月11日に開館20周年を迎え、その記念として物流博物館のマスコットキャラクター「カーゴ君」の大型パネルを設置し、記念撮影スポットとして来館者にご活用いただいた。8月11日から8月19日までの8日間、来館者全員に20周年記念オリジナルクリアファイルの配布を行った。

*参加費の記載のないものは入館料のみで参加可能。